

# 議会だより入善

GIKAI

DAYORI

NYUZEN

No.150  
2009年 7月27日



リズムにのって ひばり野小 鼓笛隊

6月定例会

緊急雇用対策を実施 (補正予算) 2p

北朝鮮の核実験に抗議する決議 (議員提出議案) 3p

コミュニティ施設の耐震化構想の対象は (常任委員会レポート) 4~5p

町政を問う 一般質問 (6議員) 6~11p

市民との協働による環境計画づくり (常任委員会視察記) 12~13p

学童保育があって良かった 14p

# 緊急雇用対策を実施

～ 国の雇用創出事業を活用 ～

6月議会の  
あらまし

6月議会は、4日から19日までの16日間開会し、町長から提案のあった平成21年度補正予算など議案2件、専決事項の承認、工事の請負契約、固定資産評価審査委員の選任、議員提出議案2件を審議し、すべて可決した。  
また、陳情3件を審査したほか、12日に一般質問が行われ、6人の議員が質問に立ち、論戦が交わされた。

## 補正の概要

緊急雇用対策 2506万円

昨年からの雇用情勢の悪化に対し  
国の補正を受け、町で雇用を図る。

次の事業で雇用を図る。

パソコン技能スキルアップ支援  
事業

パソコン教室を開催し、OA講師の雇用、受講者の技能向上、就職の機会の拡大を図る。

健康スポーツコーディネーター  
設置事業

町民のスポーツ振興、健康づくりのため、体育館にスポーツコーディネーターを配置する。トレーニングの指導や、アドバイス、相談を行う。

介護保険相談事業

窓口で介護制度の相談体制を充実するために、補助員を配置する。

ホームヘルパー2級養成講座開催事業

養成講座を開催し、ヘルパーの有資格者を増やすことにより福祉現場への新たな雇用を図る。

公園遊具、安心・安全推進事業

子どもたちが、安全な環境で遊ぶことができるよう、町内の公園遊具の点検、修繕を行う。

杉沢の沢スギ保存、環境整備事業

沢杉保存のための整備員を配置し、環境整備を充実させる。

そのほか19事業で、計71人の雇用を図る

地域活力基盤創造計画策定  
1300万円

道路特定財源の一般財源化による地域活力基盤創造交付金を使い、町内の耐震化されていない公民館施設を整備し、地域づくりを行うための計画を策定する。

そのほか、自治宝くじ助成による板屋地区の公民館建設補助、健康交流プラザの落雷被害による復旧などを行う。

これにより、一般会計で9250万円の補正となり、総額は96億8790万円となった。

## 条例の制定

平成21年6月の期末手当及び  
勤勉手当に関する条例の制定

5月1日に人事院の臨時勧告を受け、6月の期末手当・勤勉手当の一部を凍結して支給する条例。

これにより、一般職の職員および特別職・議員など、あわせて約1660万円の減額が見込まれる。

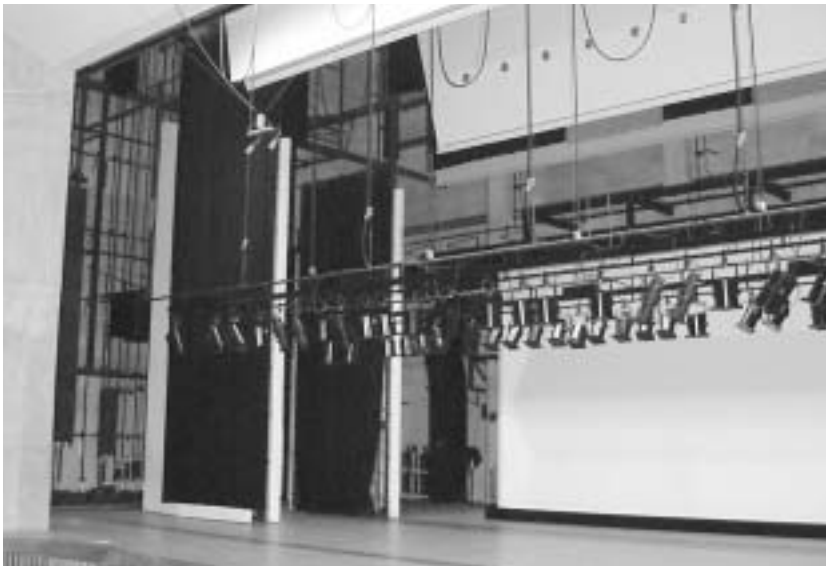
## 工事の請負

下記の工事請負契約について可決した。

### 町民会館コスモホール舞台吊物機構改修工事請負契約

請負者 三精輸送機株式会社  
請負金額 5974万円

緞帳、幕類、天井反射板、照明機材などを、舞台上で昇降させる装置全般の改修を行う。



コスモホール舞台吊物の改修

## 陳情

### 農地法の「改正」に反対する陳情

陳情者 農民運動富山県連合会

「農地法の一部を改正する法律案」を廃案にすることを求めて、国に対して、意見書の提出を求めるもの。

反対多数で不採択とした

### 政府が自ら決めた備蓄ルールに基づいて20万ト規模の政府米買い入れを求める陳情

陳情者 農民運動富山県連合会

政府が自ら決めた備蓄ルールに基づいて、20万ト規模の備蓄米の買い上げを直ちに実施することを求めるため、国に対して意見書の提出を求める。

反対多数で不採択とした

### 富山県の最低賃金の大幅引き上げと中小企業対策の拡充を求める陳情

陳情者 富山県労働組合総連合

下請取引適正化の推進と、最低賃金の底上げとを併せて推進することや企業に対し、労働者の雇用維持と安定雇用の創出を求めることなどを要望するため、国に対して意見書の提出を求める。

反対多数で不採択とした

## 議員提出議案

### 北朝鮮の核実験に抗議する決議

5月25日、北朝鮮は地下核実験を実施した旨を公表した。町議会は、北朝鮮の核実験に抗議するとともに、今後核実験関連施設を完全放棄し、再び核実験を実施することのないよう強く求める。

賛成全員で可決とした

### 北朝鮮の核廃棄を求める意見書

国際社会が一致協力して、北朝鮮の核廃棄がなされるよう、国連安全保障理事会などにおける決議を求めるとともに、日本においてもあらゆる外交的努力を尽くすよう、国に意見書を提出する。

賛成全員で可決とした

### 固定資産評価審査委員会委員の選任

6月30日で任期満了となる固定資産評価審査委員会委員の再任を賛成全員で同意した。

愛場

希嗣 氏

入善町上野

# レポート

## 総務 常任委員会

### 緊急雇用対策事業の 必要性は

**Q** 国の補正3478万円を受けて、緊急雇用対策にいろいろな事業を計画しているが、これは、補正がなければ、しなくてよいものなのか。

**A** 補正がなくても、やらなければならぬと思っているものだ。

補正で事業をより拡充したりして雇用の拡大を図ったものもある。

### 今後の緊急経済対策の 見通しと町の対応は

**Q** 今後の国の緊急経済対策として、1億6000万円余の数字が示されているが、どのような事業を考えているのか。

**A** 8月の臨時議会で提案するが、町施設の地

デジ対応、道路整備などを進めたい。

また、別の公共投資では臨時交付金を使い、下水道事業1億円内の4000万円を見込んでいます。

### コミュニティ施設の 耐震化構想の対象は

**Q** 地域活力基盤創造計画策定委託で、コミュニティ施設の耐震化を検討することだが、具体的にはどの施設を対象としているのか。

**A** 国は道路財源の一般財源化で、新たな交付金制度を設けた。これを利用して施設と周辺整備ができればと考えている。

どの施設かは決めていないが、飯野、横山、舟見、野中の4カ所を視野に入れている。

### 雇用創出にパソコン教室の 委託 その実績は



サンウェルでのパソコン教室

**Q** 国の緊急雇用補正でパソコン教室に新たな講師を雇い入れとあるが、これまでの実績はどうか。

**A** 年間1000人余が受けている。今回の補正で、1コース10人ほど、60コースを委託で開催したい。

### ヘルパー養成講座で 介護職員の充実を

**Q** ヘルパー2級養成講座の委託も緊急雇用

創出事業だが、介護職員が不足している中で大変ありがたい。

できるだけ、町の施設などで働けるよう支援してほしい。また、働きながら受講できるような工夫してほしい。

**A** 町社会福祉協議会に委託するので、要望は伝える。各介護施設などには、受講を終了された人の紹介はできると思う。

### 町税を返還する企業 は何かほどか

**Q** 予定納税を行っている企業に町税4400万円を返還するとの事だが、予定納税を行っている企業はどれだけか。今年度、何社に返還されるのか。

**A** 大きな10社を聞き取り調査した。その内の1社で3800万円、他の1社で200万円程度の返還が判明した。

### 食農教育事業費の 内容は

**Q** JAからの寄付で行われるが、どのような内容か。

**A** 野菜栽培の取組みがなかった保育所で栽培してもらい、給食に活用したい。

また、保育所で紙芝居などを使って、食に興味を持たせる取組みも行う。

# 常任委員会

## 産業教育 常任委員会

労働福祉費の職能訓練奨励金の内容は

**Q** 職業能力開発訓練奨励金について、その内容を示せ。

**A** 雇用創出のための職業訓練奨励金制度である。従来は35歳以上であるが、今年度は年齢制限はない。

3カ月以上で2万円、3カ月未満で1万円の奨励金が1回限りで出る。

園家山キャンプ場の管理運営について

**Q** 夏休み期間中の園家山キャンプ場の管理運営を、なぜ地元への委託を辞めて、シルバーク材にするのか。

**A** 時間が不規則、夜も遅くなるなどの理由で、地元から管理できないとの申し出があったため急ぎよ委託した。

園家山周辺全体の管理体制も含め、今年度再検討を進める。

農業公社にアドバイザー、1名を増やすのか

**Q** 農業公社への管理運営費補助を減額し、新たにアドバイザー事業のため1名増やすのか。

**A** 県のふるさと雇用再生特別基金事業を活用して、農業公社にアドバイザーを配置する。農地の集積、農地の利用権の促進、地産地消、交流などに事業内容を拡大していく。

アワビ養殖の販売促進に1名増やすのか

**Q** 深層水商品販売促進業務のために1名増やすのか。

**A** 県のふるさと雇用再生特別基金事業を活用して、入善漁協にセールス要員を1名増員する。安定的に売れるよう、突破口としたい。

**Q** 商品セールスには、技術、経験豊富なプロの人材を登用することが重要。当局からも十分アドバイスせよ。

**A** 業界通でなければいけない。漁協には予算を確保してでもやってもらう。

### こんな意見も

●あわび養殖は設備の改造を行い、試験段階から本格生産に入る。幅広く販路を確保するよう、当局は漁協を強く指導せよ。

●公園の遊具が腐食、劣化している箇所が多い。メーカーでなくても地元の業者で対応できるものが多い。予算以外の箇所でも即時対処してほしい。

●公園の砂場はだんだん少なくなってきたり、遊び場として大切。犬の糞、尿などで不衛生である。砂の入れ替え、犬の進入禁止などの処置をせよ。



子どもたちに人気のジャングルジム



夏を待つ園家山キャンプ場



お昼の休憩で読み聞かせ

## 政府の経済危機対策について

### 町長の見解とその対応を示せ

**町長** わずかながら明るい兆しが見えてきた  
さらに雇用対策事業の拡充を図る



中瀬 範幸 議員

**問** 数度の国の経済危機対策を受け、町はどのように対応するのか。

**米澤町長** 入善町でも企業の経営状況や労働条件の悪化、雇用など、町民

生活を脅かす厳しい状況が続いている。

20年度補正から国の施策に合わせ、入中大規模改造、とも補償、定額給付金、子育て支援、雇用対策事業などに取組んできた。

21年度補正では、雇用対策事業の拡充を図るため、下水道、道路整備、公共施設の地上デジタル化などの対応を考えている。

**地域と雇用を支えるため低価格入札の抑制を**  
**低価格基準10%上げ**  
**上半期発注率を70%確保**

**問** 自由民主党が地域と雇用を支えるため、低価格入札抑制など緊急アピ

ルをしている。

町の対応を示せ。

**林副町長** 低価格入札は増加傾向にあり、品質低下が懸念される。今年7月から調査基準価格を10%引き上げる予定。

今年度工事発注額は、当初予算17億円であり、その70%を上半期に発注するよう努める。

入札には、地元業者が最大限に参加できるように配慮したい。

**下水道終了後の仕事確保、経営転換の指導は**  
**県の支援策と連携しながら指導・啓発に努める**

**問** 町内建設業者は、下水道工事などの公共事業

で事業を継続してきた。

下水道整備終了後の仕事量の確保、業種転換、従業員の再就職などに対して、町の考えを示せ。

**副町長** 下水道工事はピークの約35億円から、21年度約14億円にまで減少している。

町では、今後大型社会資本整備が見込まれず公共事業は減少する。

町内建設事業者数も、平成13年度入札参加107社あったものが、今年度は83社まで減少した。時代に適応した経営への転換が必要となってきた。

県では「富山県建設業新分野進出事業等支援補助事業」などで支援しており、町も、県と連携しながら、建設業協会や各種研修会を通じ、指導・啓発に努めたい。

**子どもの読書離れ・読解力不足への対応は**

**「子ども読書活動推進計画」を策定し推進**

**問** 08年全国学力テストでは、子どもの「読書離れ」「国語の読解力不足」が浮彫りになった。読書好きに育てるための、町の図書政策は。

**滝本教育長** 町では06年「入善町子ども読書活動推進計画」を策定。図書館と学校、保育所が連携し読書活動の推進と啓発を重点に取組んできた。

朝読書など読書時間の確保、読書貯金など読書冊数の記録、ボランティアや図書館司書による「読み聞かせ会」など、年間を通して展開している。

平成20年度調査で、中学校では、読書好きな子どもが全国平均を大きく上回ってきた。



連携排砂中の宇奈月ダム

## 不況対策交付金は、住民の要望を聞き

### それに応えることである

## 町長 町民生活に必要な事業などに重点配分したい

**問** 予定されている国からの不況対策交付金約1億6670万円は、住民の要望に応えたものにするべきである。

**町長** 町民生活に必要な事業、将来的に必ず実施

しなければならぬ事業に重点配分したい。

通学路の整備、学校や公共施設の地上デジタル化対応を検討している。

### 児童館をつくり 児童保育を

### 町行財政への影響か ら困難と考える

**問** ひばり野小学校下で児童保育が望まれている。

全小学校下に児童館をつくり、そこで児童保育も行うべきではないか。  
**金沢健康福祉課長** ひばり野小学校低学年と舟見・野中保育所の32・3%の保護者が、児童保育を希望している。

開設場所や指導員の確保などの課題があり、動向を見て検討したい。

全校区での児童館新設は、町行財政への影響を考慮すると、非常に困難と考える。

### 黒部川に一定量の放水を

### 国に継続を要望したい

**問** 黒部川の排砂は一定の出水時ごとに行い、濁りが解消するまで自然流下を続けることが、生態系の回復につながると思うがどうか。

国交省が03年度から水環境改善事業として一定量の水を流してきたことで、環境にある程度の役

割を果たしてきたのではないか。

この事業の継続を求めている考えがあるか。

**草島建設下水道課長** 排砂のあり方について、専門家や流域関係者の意見を十分聞き、より自然に近いものとなるよう国、関西電力に働きかけていく。

黒部川に一定量の水を流すことは、地下水の保全からも重要なこと。今後も事業の継続を要望していきたい。

### 七夕まつりの現状を どう認識しているか

### 今後も 支援を継続したい

**問** 入善町の文化として、地域住民が守り継承されてきた舟見七夕まつりの位置づけは、大きいものがあるのではないか。現状をどう認識しているか。

**寺崎農水商工課長** 地域自らが行う「まちおこし」のモデルともいえる。

今後も精一杯の支援を継続していきたい。

### 舟見中、かつての「存続させたい」が合意ではないか 協議を重ねながら統合 に向け準備を進めたい

**問** 町教育委員会は、舟見中学校を組合立から町立にするとき、地域住民への説明資料で「地域住民の意思が変わらない限り、存続させたい」と述べている。

書類が交わされていないくても、これが町と住民との合意ではないか。これを守ることが行政の継続性ではないか。  
**国友教育委員長** 区長会や小・中学校保護者と、教育の問題、地域の問題でも協議している。  
協議を重ねながら来年4月の統合に向け、準備を進めたい。



九里 郁子 議員



太陽光発電による避難誘導灯

## 地上デジタル対応に相談窓口の設置を

### 町長 企画財政課を町の窓口とした



大橋 美椰子 議員

**問** あと2年でデジタル放送に変わる。契約内容や、どう対応するかが解らない人が多い。

町内の電気店、工事店も含めて町に相談窓口の設置を求める。

**町長** 国では、地上デジタル放送への円滑な移行のために総合対策を実施している。

町に協力依頼があり、企画財政課を町の窓口とした。高齢者・障害者へのサポートとして、地域に密着した説明会、福祉団体、民生・児童委員研修会などできめ細かく実施する。

広報などで説明会の開催、悪質商法への注意喚起も併せて行う。

参加が難しい65歳以上の高齢者世帯に対し戸別訪問を行う。

街灯の省エネ電球への交換と避難誘導灯の設置を

省エネ製品や太陽光などの利活用に取組む

**問** 防犯灯、街路灯の省エネ電球への交換や、太陽光発電を活かした避難誘導灯の設置を求める。

**室住環境課長** 町内には約2700カ所に防犯灯や街路灯が設置されている。

これらのランプを、インバータ式やLEDなどの省エネタイプに交換することで、電力使用量を約5分の1から10分の1に抑制することができる。

誘導灯の設置は、緊急時に不可欠な設備

だ。現在3カ所に設置している。省エネ製品への移行や、太陽光などの利活用を図るよう増設も含め取組む。

**問** 希少金属のリサイクルのために「入れ歯回収ボックス」の設置を求む。

**住民環境課長** 携帯電話やパソコンなどに使われている金、銀、プラチナなどの貴金属類は「レアメタル」と呼ばれ「都市鉱山」という言葉もある。レアメタルは入れ歯にも使用されている。

全国251自治体が入れ歯ボックスを設置しており、今後の検討課題だ。

国の新たながん検診対策にどう対応するのか

情報収集に努め対応

**問** 国は、子宮・乳がん検

診への無料クーポン券、検診手帳を交付する。50%の検診受診率を目指すとしている。

町はどう取組むのか。

**健康福祉課長** 町を含めて富山県内死因の第1位が「がん」だ。町では子宮がん検診は受診対象者年齢を、30歳以上から20歳以上に拡げ指導周知している。

施設検診受診券の発行や、女性専用で胃・大腸の検診も同時に受診できるレディースデーを設定し、早期発見・治療の普及啓発に努めている。

今回の制度での町の受診対象者は約1500名である。

国の新たな事業なので、今後情報収集に努め、適切に対応する。



北陸新幹線新駅に入善町を宣伝するコーナーを  
町長 「新川広域情報センター」の整備計画に反映する



建設中の仮称「新黒部駅」周辺

問 仮称「新黒部駅」に入善町を宣伝するコーナーを設置するなど、入善町の要望を考えているか。

町長 関係機関で「新駅周辺整備計画検討委員会」を立ち上げ、計5回協議してきた。

整備計画には、新川各地域の産業や観光を展示・紹介する空間として、駅舎に隣接して、「新川広域情報センター」の整備が盛り込まれている。この中で入善町の要望を反映していきたい。

新幹線および国道8号バイパスの進捗度はともに平成26年度開通の目標は変わらない

問 今回、国の大型補正で、北陸新幹線に475億円の予算がつき、うち

富山県分として243億円が配分された。

国道8号バイパスと併せて供用開始が早まる可能性はあるか、工事の進捗度を示せ。

町長 新幹線の県内進捗率は、今回の補正を含めても55%程度である。今後さらに必要な事業費は、2700億円と見込んでいる。

県内で進んだとしても他県の状況にも左右されるので、平成26年度の開通予定は変わらないと聞いている。

本年4月現在、県内の工事着手率は、富山駅以東では約95%、西では約45%となっている。

また、国道8号バイパスは、魚津市江口から黒部市古御堂の間、7・3km区間において、用地買収は約90%進んでおり、順次工事発注がなされるものと期待している。

当初の計画どおり平成26年度、北陸新幹線と同時間通となる公算が強い。

並行在来線に関する住民の要望を提出せよ  
経営見通しは厳しいが関係機関に要望する

問 新幹線が開通しても交通弱者や通勤、通学の足を守るため、北陸線在来線は重要である。議会も3月、特別委員会を設置し協議しているが、町

当局は、住民の声を集約し、「入善町の重点要望書」を提出し運動を展開すべきでないか。

副町長 並行在来線は住民にとって極めて重要な交通網であり、入善駅、西入善駅とも残す形態で存続できるよう、「県並行在来線対策協議会」を通じて国やJRに対し、要望していきたい。

収支予測は、JR資産を簿価で譲渡を受けた場合、開業年度の赤字は23億円、無償譲渡を受けても13億円の赤字と予測されている。

あらゆる角度から経営改善の検討が必要と考えている。



本多 幸男 議員



田植えに励む農家

## 企業の参入を促す農地法の「改正」に対し 農地の耕作者主義を国に求めよ

### 町長 農地の有効活用のためには 改正は止むを得ないところもある



松田 俊弘 議員

**問** 政府が農地法を「改正」し、株式会社等の農業への参入を容易にしたことは、認定農家や集落営農の経営を危うくする。耕作者主義を堅持するよう国に求めよ。

国に、コメの輸入はやめ、転作作物への補助率引き上げを求めよ。

**町長** 今回の改正では、農業委員会にチェック機能の役割が与えられた。農地の確保と有効活用のためには、止むを得ないところもある。

コメの輸入は、不利益が生じないよう、近隣市町と連携を取り国へ要望していく。

**国の雇用促進住宅の廃止方針はどこまで改善されたか**  
**当分の間退去は求めないところ**

**問** 政府の雇用促進住宅の廃止方針に対し、どのような取組みをし、どこ

まで改善されたのか。

**副町長** 厚生労働省は、当分の間退去の促進を実施しないとした。

住宅の最終的な明け渡し期限は、最も早くても平成26年11月となる。町は、廃止決定の変更や譲渡条件の緩和を申し入れてきた。

**国保で失業者などの医療費と保険料の減免を**  
**他市町の動向や先行事例を参考に検討する**

**問** 国保加入者で、生活が困難な人の医療費自己負担分の減額免除は、どこまで検討したか。

厚労省は、失業者などの保険税を市町村が減免

した場合、財政支援すると答えた。

町は、保険税の減免に取組む考えはあるか。

**健康福祉課長** 医療費の自己負担分の軽減は、県内の先行市の事例を参考に、細部にわたって検討を重ねている。

保険税の減免は、今後国からの通知を受け、他市町の動向などを注視していきたい。

**春日海岸にトイレ設置を**  
**課題が整理されれば、県や国に働きかけたい**

**問** 春日の海岸では住民のグループが、訪れる人のために、夏場に仮設トイレを設置している。

町はこの活動を支援し、常設トイレの設置を検討する考えはないか。

**住環境課長** 常設トイレの設置については、管理や土地、下水道の流し込みなどの課題が整理さ

れば、県や国などに働きかけたい。

**核兵器廃絶を強く訴えよ**  
**粘り強く取組んでいく**

**問** 来年の核不拡散条約再検討会議に向け、国際的な核廃絶の協力の可能性が広がっている。

そうした中で北朝鮮の核実験は、許しがたい暴挙だ。国際的な世論で、北朝鮮を孤立させることが重要と思うがどうか。

非核平和都市宣言をした町として、核兵器廃絶を強く訴えていくべきではないか。

**総務課長** 議長と連名で、北朝鮮に対し強く抗議声明を行った。

町は平成19年度に「平和市長会議」に加盟した。

核兵器廃絶の実現に向けて粘り強く取組んでいく。

## 新型インフルエンザの取組みは

### 町長 対策本部を設置し町の役割を確認

**問** 町は、新型インフルエンザの国内発生拡大により、いち早く対策本部を設置したが、今日までの状況と今後の取組みは。

**町長** 町は5月1日に、対策本部を設置し、全庁的な情報の収集と共有体制を確立するとともに、町の役割を確認した。

相談窓口を保健センターに設置し、情報提供の体制整備を図った。

また、学校や保育所などの臨時休業、集会などの活動の自粛など、感染拡大防止対策、災害時と同様の要援護者への支援対策を行う。

**問** 学校、保育所におけるマニュアルの整備が必要と思うがどうか。

**副町長** 学校では、季節性インフルエンザが発生した場合のマニュアルを整備しており、新型は類

似点が多いことから、これを準用したい。

学校が臨時休業した場合に備え、学習指導、生活指導、保健指導に対処できるよう準備している。

保育所についても保護者への緊急連絡網の確認などを行い、万々に備えている。

児童の受入れ体制については、拠点保育所を分散設置し、小規模保育の実施や、ファミリー・サポートセンターの一時預かりなども活用したい。

生み育てやすい環境づくりの成果は

出生率の低下に歯止め

**問** 生み育てやすい環境づくりを、町の重点項目として施策の五本柱に掲げている。これらの施策は出生率の向上に成果を上げているか。

**健康福祉課長** 出生数の推移を見ると、平成13年度までは、年間200人を超えていたが、19年度の225人を最高に、年間180人程度となっている。

これは、人口減少に比例して出生数が減少する中で、様々な支援策が功を奏して、出生率の低下に歯止めがかかっていると判断している。

女性が一生の間に産む平均の子どもの数を表す合計特殊出生率は、平成

17年は1・14、18年は1・28、19年は1・51と上昇傾向を示している。

「名水」の町として具体的なPR施策は

「名水」を全面的に出し積極的なPRに努める

**問** 本町にとって「名水」は、大切な財産であり誇りでもある。

「名水」の町として、具体的なPR施策はどうか。

**農水工商課長** 全国名水百選に選ばれた「名水」は、ミネラルウォーターとして、国内外に販売されている。

また全国展開する食品系企業の立地、IT関連企業の立地にも「名水」は大きな要因となっている。

これまで以上に「名水」を全面的に出し、積極的なPRに努めたい。



すべて入善の「名水」をつめた商品



鬼原 征彦 議員

# 視察記

滋賀県 6月25日

## 総務常任委員会

平成21年6月25日、産業教育常任委員会と合同による行政視察を行い、25日は環境基本計画の先進地である滋賀県野洲市を視察した。

野洲市は、平成16年に旧野洲町と旧中主町が合併して誕生した。琵琶湖畔に開け、人口5万人余の市である。

### 市民との協働による環境基本計画づくり

#### 計画策定の経緯

合併時、新たに野洲市環境基本条例を制定。平成17年、市民と行政によるパートナーシップの環境基本計画策定委員会を立ち上げた。

平成19年3月まで策定委員会33回、中間発表会5回、パブリックコメント（日常生活に重大な影響を与える可能性のある

社会問題について、地域住民の理解や同意を得るための公表を実施した。

共通確認事項として、

#### 推進組織の立ち上げ

市民委員27人による環境基本計画推進会議を立ち上げた。

会費として個人500円、市民団体1000円、企業2000円により、運営委員会を設置し

た。

①計画の実施主体は、推進会議および各計画の実践組織とする。

②市は、計画の活動支援を行うこととし、民間主導の活動組織である。

平成21年4月の会員数は個人、自治会、企業、市民団体を合わせて92人となっている。

自然部会、こみ・資源部会、まち・くらし部会の3部会を設け、15のプロジェクトに取組む。

#### 昨年度の主な取組み

①内湖の復活で琵琶湖を守ろう

かつて琵琶湖内陸部に内湖と呼ばれる沼地が多くあった。ヨシなどが繁茂し、家庭雑排水などの浄化に役立っていたが、圃場整備で姿を消した。

内湖の復活のために、里川・内湖フォーラムを開催している。

②葦地帯をみんなで増やそう

琵琶湖の環境を保全するため、ヨシ帯を復活させる取組み。

③みんなで進める環境学習

学校区単位で地球温暖化について考え、環境家計簿への取組みは、累計4400世帯で実施した。

④天ぷら油を回収しエネ

ルギー化(BDF)する

20年度は12か所に回収ボックスを設け、5370㍑を回収し燃料化した。公共用のトラックに使用、民間の環境活動などに貸し出している。

⑤そのほか

自然への理解、エコドライブ活動、減農薬への取組みなどを行っている。

#### 部会の設置

かつて琵琶湖内陸部に内湖と呼ばれる沼地が多くあった。ヨシなどが繁茂し、家庭雑排水などの浄化に役立っていたが、圃場整備で姿を消した。

内湖の復活のために、里川・内湖フォーラムを開催している。

琵琶湖の環境を保全するため、ヨシ帯を復活させる取組み。

学校区単位で地球温暖化について考え、環境家計簿への取組みは、累計4400世帯で実施した。

天ぷら油を回収しエネルギー化(BDF)する

20年度は12か所に回収ボックスを設け、5370㍑を回収し燃料化した。公共用のトラックに使用、民間の環境活動などに貸し出している。

そのほか

自然への理解、エコドライブ活動、減農薬への取組みなどを行っている。

琵琶湖の汚染問題と漁業、浄化への取組みを聞いた。気づいた頃は回復困難という環境問題の深刻さを実感した。

地域通貨券で太陽光発電装置を設置

NPO法人による地域通貨券「すまいる」の発行によって、農産物の地産地消を進めている。

その収益金の一部を太陽光発電の助成にもあてており、住宅では130kW、公共施設360kWの太陽光発電が設置されている。

しかし、地域通貨券については、コミュニティビジネスとして、リスクを最小化して取組んでいる。

現在、太陽光発電は対費用効果では厳しいが、環境対策として取組んでいる。

琵琶湖の水と地域の環境を守る会 代表から、

「琵琶湖の水と地域の環境を守る会」代表から、

### 深刻な琵琶湖の環境変化

琵琶湖の水と地域の環境を守る会 代表から、

# 視察記

滋賀県 6月26日

## 産業教育常任委員会

6月26日、常任委員会合同の視察2日目。産業教育常任委員会が担当する。

「地産地消の取組み」、「黒壁で有名な長浜市のまちづくり」の2つのテーマで視察を行った。

### 「農畜産物 処理加工施設」 アグリりの郷 栗東りつとう

#### 事業の目的

農業の経営体強化と産業としての農業基盤確立施策の1つとして、農畜産物処理加工施設を計画した。

- ① 転作物を原料とした食品の製造販売
- ② 次世代の担い手のために雇用機会の創出
- ③ 消費者ニーズに応える「安心・安全・新鮮」な農産物の加工販売
- ④ 野菜の直売施設を併設



アグリりの郷 栗東りつとうで

し、農業者と消費者との交流が図れる施設

#### 施設の概要

- 平成12年、4億560万円（国50%、県5%、栗東市45%）で建設。
- ・ 本体建物768㎡
- ・ 加工機械各種設置

#### 管理運営

管理運営主体は、栗東市の指定管理者として「栗東農産物加工有限公司

社（第三セクター）」。

資本金は375万円、主な株主は栗東市、JA、森林組合、商工会、農業者、従業員など。

#### 従業員

市内の女性農業者の地位向上と自立できる企業経営を目指して、生活改善、女性活動グループ員が中心となっている。

- ・ 店長1名
- ・ 加工従事者27名

- ・ 一般販売業務員9名
- ・ 一般事務員2名

#### 加工品

豆腐工房、もち工房、うどん・そば工房、パン工房、ジェラート工房、そば・うどん・パン道場、レストラン工房など。

店長の説明や従業員の姿勢は非常に元気で明るく感じられた。安心・安全・新鮮を売る店として非常に良い雰囲気だ。

そのためか、大都市の近郊で人口が多いからか、野菜が美味しいからか、直売の野菜の売れ行きがよく、生産が追いつかないそうだ。

経営的には、年間売り上げ約2億円。指定管理者として第三セクターで運営しているから成り立っている。

当初目的の農家の経営体強化には程遠く、土地の借地料は市が負担しており、自立化の道は険しい。



地場産野菜の販売所

### 「黒壁で有名な長浜市 のまちづくり」 大手門通り

400年の歴史を持つ近江商人で栄えたこのまちも、郊外大型店舗の進出により沈滞と低迷に苦しんだ。

1900年に建てられた長浜を代表する黒壁銀行が、1987年解体の危機に陥った。

市民からの強い保存の要望で、中心市街地活性化の拠点として、第三セ

クター「株黒壁」を設立。土地建物を買取り、改修した。

「株黒壁」は、黒壁ガラス館を中心とした一帯の空き店舗を利用して、工芸品の店や美術館を営むほか、参入希望者への転貸も行っている。

また、NPO法人「まちづくり役場」を立ち上げ、視察団体の受入れ、まち歩きマップの作成、サテライトスタジオなど、周辺住民の交流と情報の拠点として活動している。

# 学童保育があつて良かった

林 知美さん  
(入善町高畠)

学童保育を利用して3年目になります。小学校は保育所と違って、帰ってくる時間が早いし、夏休みなどありません。共働きで日中、家を留守にする家族にとって、放課後はとても困ったことです。でも飯野小学校下には学童保育があり申し込み、利用させてもらうことができました。

飯野の学童保育は、小学校のすぐ隣にあるので、下校時にも安心です。子どもたちは学童保育へ行く、「ただいま」と言つて入つていくそうです。先生方も「おかえり」と迎えてくださいます。

放課後になつても、子どもが学童保育へ行つていいると思つと、安心して仕事をしています。学校の行事などで、休みに



子どもたちで歓迎会

なつたり、早く下校することになつても、学童保育で対応してもらえるので、とても助かります。春、夏、冬の長い休みの時もそうです。子どもに合わせて仕事を休んだりできないので、本当に助かります。また、学童保育では、いろいろな行事もあります。本の読み聞かせ、お茶教室、おやつ作り、季節に合わせたクリスマス会、豆まきなどです。ドッジボールは毎日楽しく

## 飯野学童保育を担当して

山下 悦子さん  
(入善町声崎)

「ただいま」と、元気な声で

47名が集団で来館します。放

課後から家族が仕事終え、迎えに来られるまでの約3時間

を学童室で過ごします。

持ち物を片づけ早々に宿題にとりかかり、終わった子より読書に親しみます。宿題がほとんど終わったところにグループ別におやつを頂き、室内遊びを展開します。将棋やトランプ、オセロなど楽しんでいきます。

4時過ぎから約1時間は身体を動かしてあそびます。ドッジボールやバトミントン、なわとびなど汗だくで動きます。その中でもドッジボールが大好きで毎日要求してきます。紅白戦やグループ対抗戦、交流戦などで日々力をつけています。身体を動かした後の冷えた麦茶を「命のお茶」と呼び、年中好んで飲みます。

ほかには、季節に応じて新入生歓迎会、夏まつり会、クリスマス会、送別会など子どもたちがリーダーとなつて、準備や司会も務めます。いろいろな場を与え、体験を通して一人ひとりが成長するよう見守りたいとお世話しています。

## 編集の窓

七夕の夜空に、ひときわ輝く大輪の花火に、思わず感動を覚えました。

例年になく絶好の花火日より。遠く離れたところからでも光と音のファンタジーを十分楽しむことができました。

舟見の七夕祭りは約三百年前に始まり、江戸時代に宿場町として栄え、地域に愛され守り継がれてきた祭りです。

議会だよりも今回で150号の節目を迎えました。創刊号は昭和49年4月でした。

諸先輩が築いてきた広報の使命を、引き続き、守り育てていく決意です。

### 議会広報編集特別委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 議長   | 谷口 一男 |
| 委員長  | 大橋美椰子 |
| 副委員長 | 鬼原 征彦 |
| 委員   | 上野 等  |
| "    | 山下 勇  |
| "    | 松田 俊弘 |
| "    | 松澤 孝浩 |